

研究データ利活用協議会

RDUF

Research Data Utilization Forum

研究データ利活用協議会の活動紹介

2024年12月

研究データ利活用協議会事務局

- RDUFとは？
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

- RDUFとは？
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

◆ 研究データ利活用協議会 (RDUF) とは？

ジャパンリンクセンターが2014年10月から2015年10月までの約一年間実施した「研究データへのDOI登録実験プロジェクト」において、分野を横断した実務レベルの研究データ担当者が集うコミュニティが醸成された。

このコミュニティを活用し、オープンサイエンスの実現に向けて個々の組織や分野を超えた情報共有や議論を促進するため、2016年6月3日に「研究データ利活用協議会」が設立。

研究者(データ提供者、データ利用者)、大学・研究機関のデータ・リポジトリ関係者、図書館員など幅広い分野の関係者などが個人会員として参加している。

◆ 会員について

• 個人会員

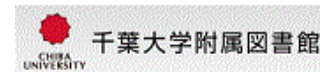
研究者(データ提供者、データ利用者)大学・研究機関のデータリポジトリ関係者、
図書館員など幅広い分野から参加。

現在の個人会員数：187名

• 機関会員

RDUfの目的に賛同し、活動に貢献する企業又は団体等。

現在の機関会員数：8機関



◆ 会員の活動

- 小委員会、部会への参加(有志)
- メールングリストでの議論、情報共有
- 企画委員の信任投票
- イベント参加(発表登壇など)
- ...

◆ 企画委員会

RDUFの運営を効率的かつ円滑に推進するため設置。企画委員会を開催し、年度ごとの活動方針や活動総括の策定、機関会員入会の審査などを行う。

◆ 2024年度 企画委員(11名)

南山 泰之 (委員長) / 国立情報学研究所

熊崎 由衣(副委員長) / 千葉大学附属図書館

小野寺 千栄 / 物質・材料研究機構

小林 芳幸 / 国立国会図書館

権田 真幸 / 日本原子力研究開発機構

齊藤 千鶴 / 海洋研究開発機構

中島 律子 / 科学技術振興機構

林 和弘 / 文部科学省 科学技術・学術政策研究所

松本 崇博 / 高輝度光科学研究センター

村山 泰啓 / 情報通信研究機構

八塚 茂 / 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

◆ 2024年の活動方針

1. 様々な知見やユースケースを共有し、関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。
2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、その結果を「研究データ活用協議会」の成果物（ガイドライン、ノウハウ集、事例集など）としてまとめることを目指す。
3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ活用協議会」のプレゼンス向上を図る。

- RDUFとは？
- **小委員会について**
- 部会について
- 入会のご案内

◆小委員会について

- 研究データ利活用について議論するResearch Data Alliance (RDA) に倣って、有志による議論・意見交換を行い、研究データの利活用に向けて提言や指針をまとめる場として設置。
- 活動期間は1年間。(延長、再設置可能。)
- まとめられた提言などは成果物として公開し、活用を図っていく。
- RDUF会員であれば参加可能。

◆活動内容

グループ討議、全体討議、外部発表 等。

最終的に成果物を取りまとめ、公開する。

小委員会について ～過去の活動と成果物～

小委員会名	活動期間	主な目的	成果物
研究データのライセンス検討プロジェクト小委員会	2017年 10月～ 2019年 3月	研究データの利活用を促進するためには、政策面でのアプローチだけではなく、利害関係者自身がデータにライセンスを付与し、法的な相互運用性を明確にしていくことが重要となる。上記を達成するため、小委員会ではコミュニティとの議論を通じ、 <u>ガイドライン策定のための基礎資料及び事例集を作成する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 研究データのライセンス表示ガイドライン ライセンスの整理表
研究データ・ライセンス小委員会	2019年 7月～ 2020年 1月	「研究データのライセンス検討プロジェクト」小委員会で作成したガイドライン草案につき、 <u>バージョンアップに向けた論点出しを兼ねた、各分野(学術、産業、官庁等)に対する普及活動を行う。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 研究データの公開・利用条件指定ガイドライン
ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク(JDARN)小委員会	2020年 1月～ 2020年 12月	研究データを安定的に公開する為には信頼できるデータリポジトリであることが重要。 <u>我が国のリポジトリ関係者間で共通する問題と国際標準等の先進事例を集め整理する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 研究データリポジトリ運営体制表 リポジトリにおける役割・ドキュメント・アクション 研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン(JDARN案) CTS要求事項とアイテム

小委員会名	活動期間	主な目的	成果物
リサーチデータサイテーション小委員会	2019年 1月～ 2019年 12月	研究データの引用・被引用関係を記述し活用する上での、論文執筆時からデータ検索までの各業務工程における課題を抽出・整理する。 研究データ引用に関わるメンバーが集まる場を作ることで、我が国における研究データ引用の実現に向けての人的ネットワークを作る。	<ul style="list-style-type: none"> データ引用原則の共同宣言 リーフレット「研究データDOIを付与するには？5分でわかる研究データDOI付与」 「学術雑誌のデータ公開ポリシーの変遷:2014年と2019年の比較」
人文学・社会科学のデータ共有における課題検討小委員会	2021年 10月～ 2023年 3月	人文学・社会科学のデータ共有における課題を解決するために国内のデータアーカイブ等の事例を共有し、提言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> データ共有の取り組みに関する事例集
研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会	2022年 4月～ 2023年 9月	研究DXの推進には、最初からデジタル(born-digital)な対象に加え、研究に用いた試料、史資料、機材等の有体物に関する情報もサイバー空間において参照できるようにすることが不可欠である。これら有体物としての研究資源に付与する永続的識別子(PID)とこれに付随するメタデータの管理と利活用に関する調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> PIDINST日本語ドキュメント
研究データへのDOI登録促進小委員会	2021年 11月～ 2024年 6月	現在の研究データへの DOI 登録に関する運用経験、実情、課題等を調査・議論し、「研究データへの DOI 登録ガイドライン」の改定、あるいは現状に即した新しいドキュメントを作成することについて検討する。「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版等ドキュメントや、検討・調査結果等を成果物としてとりまとめることで、研究データへの DOI 登録促進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「研究データへのDOI登録ガイドライン」改訂版

小委員会について

◆小委員会の設置

小委員会で自らが先導して検討する意志を持つRDUF会員であれば誰でも提案可能。(事前にコアメンバーを組んでからの応募を推奨)

◆設置要件

小委員会募集要項の内容を踏まえ、規定の提案書様式に則って応募。(下記を参照↓)

<https://japanlinkcenter.org/rduf/subcommittee/index.html>

小委員会の成果物はRDUFWebサイトで公開しています！

<https://japanlinkcenter.org/rduf/deliverable/index.html>

申請日 平成 年 月 日

RDUF小委員会テーマ提案書(案)

1.運営区分	3ページの1,3,(3)運営区分 のにある3区分から1つお選び下さい。
2.テーマ	検討したいテーマを決めて記載ください。 小委員会名になります。(仮称でも構いません)
3.目的	本小委員会の活動目的の詳細を記載ください。
4.成果物	12ヶ月間で得る予定の成果物、アクトカムの概要を記載ください。
5.成果のインパクト	期間終了後でも良いが、活動の成果を社会実装していくための道筋やマイルストーンについてや、成果を社会実装したときに得られるインパクトについて、記載ください。
6.小委員会の活動計画	認定から1年間の活動期間中に実施する ・活動の形態(会議、各種イベント)や開催頻度 ・その間でのマイルストーン ・成果物創出やコミュニティ拡大に向けた方策
7.初期委員(所属)	RDUF 会員 人数は規定しませんが、できるだけ関係するコミュニティのメンバーと組んで、ご応募されることを推奨します
8.その他	自由記述 (今後集めるメンバーの想定など)

※ 1～2枚程度にまとめてください。

- RDUFとは？
- 小委員会について
- **部会について**
- 入会のご案内

◆部会について

小委員会活動等によって得られた知見の継承と展開を長期的、継続的に行うことを目的とし、活動期限に縛られない枠組みとして設置。

◆活動内容

小委員会成果物の更新や利活用促進、継続的な議論、コミュニティの拡大等

部会について ～活動中の部会の紹介～

◆ データ共有・公開制度検討部会

「RDUF 研究データライセンス小委員会」による活動の継承と展開を目的とする。主な活動として研究データの公開・利用条件ガイドラインの作成と普及等を行っている。

◆ ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)

「JDARN小委員会」活動の継承および展開を目的とする。
主な活動としてデータリポジトリ整備・運用ガイドラインの草案執筆等を行っている。

部会の成果物はRDUFWebサイトで公開しています！

<https://japanlinkcenter.org/rduf/deliverable/index.html>

- RDUFとは？
- 小委員会について
- 部会について
- **入会のご案内**

RDUFへ参加しませんか？

本協議会(RDUF)に入会すると、関連イベントなどの情報をメールでお届けします。メーリスで会員同士の情報共有も可能です。

オープンサイエンスにおいても重要視される、データ共有・利活用のコミュニティに参加しませんか？



● 詳細はこちら ●

<https://japanlinkcenter.org/rduf/about/index.html>